

小学校の防災教育と防災マップづくり

1．防災マップづくりの狙い

・台風・洪水などの災害のことやまちの防災力を学ぶことで、災害時の対応力の習得
・児童を通じて、家庭や地域の防災意識の向上
・水・食料の備蓄、住宅の耐震化など災害への備えの促進
・まちに対する関心を持ち、愛着を持つ

2．調べ学習・発表（事前学習）

マップづくりに先立ち、自分達で敵（自然災害）のことを調べて発表します。

（自然災害には、どんなものがあるか、どんな被害がでるか、どう備えるか　など）





3．防災マップづくりの流れ

① 出前講座

災害はどんなものか・災害がおきた時にどうすればいいかに加え、東日本大震災の被害映像などで災害のことを学習します。



② まちあるき

保護者の方等に協力いただき、災害時に役に立つ・危険な場所などや気づいたこと等を地図に記入します。



1.安全な場所
　空き地、公園等
2.役に立つ場所
　病院、汚水ﾏﾝﾎｰﾙ、消火栓等
3.危険な場所
　狭い道、古い建物等

③ 防災マップづくり

まちあるきで確認したこと、気づいたことをメモにして書込みます。自分たちで写真やイラストを工夫し、防災マップとしてまとめます。





④ まとめ発表

班毎に作成した防災マップと気づいたこと、感じたことなどをまとめ、発表します。







4．防災マップづくりによる効果

・作成した防災マップを学校内に掲示することで、他学年の児童が、まちの安全・危険な箇所などを知るきっかけになる。
・災害時の行動がはっきりすることで、安心感が生まれるとともに、災害時の対応力が身につく。
・まちの地理・歴史、災害の仕組み、発表力・表現力など、多様な科目の総合的学習ができる。
・多くの大人と接することで、社会性の向上に役立つ。

発展

5．継続による効果

・災害の知識や対応力を身に付けた児童が増えることで、今後、地域防災の主役となり、防災活動に大きな役割を果たす担い手の育成につながる。

6．災害への備え

・避難路沿道を始めとした住宅、建物の耐震化などの災害への備えを目指す。

問合せ・連絡先／鳳土木事務所　地域支援・防災グループ　　／072-273-0123(内線 321)